

## ボジョレー速報 2020年

今年もボジョレー・ヌーヴォーの季節がやってくる！

2019年は、春の遅霜から始まり、夏に記録的な猛暑に見舞われるなどまるでジェットコースターのような気候のうねりの中、最終的に平均以上の収量が取れた年だった。

2020年は、コロナ危機をよそにブドウはかつてないほど早いペースで成長を遂げている。また春に遅霜がなかったことと開花が順調だったことで、今年は2018年に匹敵する豊作が期待されている。世界中が未曾有の危機の中、果たしてカリーム、ジャン、ケヴィン&フレッドはどのようなヌーヴォーを作り上げてくるのだろうか!?

### ◇ カリーム・ヴィオネ

開花は5月20日に始まりわずか1週間ほどで終わった。これは例年よりも1ヶ月ほど早いペースだ！開花から90日~100日後がブドウの収穫日と言われているので、このままのペースで行けば8月後半の収穫もありえないわけではない。今年は冬らしい冬がほとんどなく雨が多かった。春になると雨はピタリと止み、3月から5月後半まで乾燥した天気が続いた。6月に入り現在まで50mm程度の理想的な雨が降ったことでブドウは一気に成長スピードを上げている。今のところ病気はほとんど見られず、敢えて気になる点を挙げるならば、おそらく6月の気温の寒暖差のストレスによるカリウム不足であろう、赤く変色したブドウの葉が多く見られることくらい。それ以外はほぼパーフェクトだ！



カリウム不足で葉が赤く変色したブドウの樹



サン＝テティエンヌ＝デ＝ズリエールの畑

### ◇ ジャン・フォワヤール

開花は5月22日に始まり、何も問題なく順調に終わった。今年のブドウは、直近で一番早熟だった2011年よりも早いペースで成長が進んでいる！巷では8月20日前後に収穫が始まると言われているが、実際ブドウの房も今年が多いので、私自身は熟するのに時間がかかり最終的に収穫は9月初めくらいになるだろうと予想している。今のところ病気もほとんどなくとても順調だ。今年はブドウの特徴として、珍しく実がOlivette（オリヴェット）と呼ばれるオリーブ状の楕円形となっている。この形は果汁を多く含みやすいので、このまま電などの被害がなければ大豊作が期待できるかもしれない！



早熟だった 2011 年よりも早いペースで成長中！



ブドウの実がオリーブ状の楕円形になっている

#### ◇ フレデリック・コサル&ケヴィン・デコンブ

開花はレーニエ村の標高低い畑は 5 月 25 日頃、一方、標高の高いマルシャン村の畑は 6 月 6 日前後に始まった。マルシャン村は標高が高く開花時は気温に敏感なため通常は結実不良を起こしやすいのだが、今年は冬が暖かく春もそのまま暖かさが続いたこともあり開花はとても順調だった。結果ブドウの大きさも均一で、いつも以上に収量が期待できそうだ！また、今年は収穫がいつもよりも早まりそうなので、前年よりもマルシャン村のブドウのアッサンブラージュの割合を増やせるかもしれない！（ちなみに前回はレーニエ村のブドウ 70% に対しマルシャン村のブドウは 30% だった）マルシャン村のブドウは果実味がピュアできれいな酸があり、この割合を増やせれば必然的にワインはエレガントでフィネスある仕上がりが期待できる！

今のところ、ブドウは病気や水不足もなくとても順調に育っている。ただ、一方で今年は、土壤にカリウムと窒素が不足しているためか、葉の色が赤や黄色に変色したブドウの樹が所々に見られる。



標高が高く斜度のあるマルシャン村の畑



開花は順調で、写真のような結実不良は少ない

**3 生産者とも今年は開花が上手く行き、豊作が期待できそうだ！また、ブドウが例年よりも早熟であることが、ヌーヴォーの醸造に大きくプラスに働きそうでもあり、今から当たり年の予感がポンポンする！さて次のレポートはまさに夏本番だが、予報で昨年のようにまた記録的な猛暑が訪れると言われている。果たしてこの予報は本当に当たるのか！？次のレポートもお楽しみに！**

(2020 年 6 月 17 日訪問 (写真) & 7 月 3 日メールレポートより)